

## 殺菌剤

# イントレックス<sup>®</sup> フロアブル

(®=BASF社の登録商標)

殺菌剤分類 7

有効成分

フルキサピロキサド ..... 18.3%

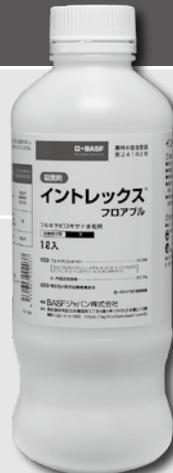
登録番号：第24182号

性 状：類白色水和性  
粘稠懸濁液体

毒 性：普通物\*

有効年限：5年

包 装：1ℓ × 12本



\* 普通物：毒劇物に該当しないものを指す通称

## ■特長

- 高い予防効果に加え、治療的効果も有するSDHI剤です。
- 有効成分ゼミウム<sup>®</sup>が断続的に植物体内へ取り込まれるため、残効性に優れます。
- 植物体内へ取り込まれたゼミウム<sup>®</sup>は、葉内において求頂的に移行し、作物を保護します。

## ■適用病害と使用方法

(2023年9月6日現在)

作物名	適用病害名	希釀倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数		
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌核病 雪腐大粒菌核病	1000～1500倍	60～ 150ℓ /10a	根雪前	4回以内	散布	4回以内 (融雪後は 3回以内)		
	2000倍								
	赤さび病	8～16倍	0.8ℓ /10a	収穫 7日前まで	3回以内				
		1000倍	60～ 150ℓ /10a						
	うどんこ病	2000倍	—	—	—	散布			
ばれいしょ	黒あざ病	150倍	—	植付前	1回	瞬時～ 10分間 種いも浸漬	1回		
てんさい	根腐病 葉腐病	1000～ 2000倍	100～ 300ℓ /10a	収穫 7日前まで	3回以内	散布	3回以内		

## △ 効果・薬害等の注意事項

- 使用に当たっては容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 敷布液調製の際は、水をかきませながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- 小麦のうどんこ病に使用する場合、発病後の散布では効果が劣ることがあるので、予防的に散布してください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
  - 敷布機種の散布基準に従って実施してください。
  - 敷布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - 敷布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
  - 敷布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
  - 敷布終了後は以下の注意事項を守るようにしてください。
    - ・ 使用後の空容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
    - ・ 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきるようにしてください。
    - ・ 敷布終了後、機体の装置は十分洗浄してください。また、薬液タンクの洗浄廃液は河川等に流さないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

## △ 安全使用上の注意



- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。

**魚毒性**…浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、  
またはクリックしてください。

